

令和4(2022)年度
第1回周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議
議事要旨

日 時:令和4(2022)年8月4日(木)14時から

場 所:周南市役所 本庁舎4階 庁議室

【会 議 次 第】

1 開 会

2 企画部長あいさつ

3 委員の紹介

4 会長及び副会長の選出

5 議 事

(1)まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要及び評価方法について

(2)まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する評価について

6 その他

7 閉会

≪ 配付資料 ≫

- ・ 会議次第
- ・ 委員名簿
- ・ 配席表
- ・ 総合戦略に関する評価
- ・ 第2期 総合戦略【令和3年度改訂版】(参考資料)

第1回周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議 会議録

- 日 時 令和4(2022)年8月4日(木)14時から
- 場 所 周南市役所 本庁舎4階 庁議室
- 出席者
- ・委員8名
江波 昭政、山田 みゆき、三浦 智香、河野 拓也、榊原 弘之、澤田 かおり、
岡 勝之、片山 恵子
 - ・事務局6名、各事業担当者
企画部長 川口 洋司、企画部次長兼企画課長 行富 広康、
企画課主幹 増本 俊彦、企画担当係長 中村 成孝、主任 藤原 隆宏、
企画課副主任 栢 理沙子、各事業担当者
- 資 料
- ・会議次第のとおり

会議議事録

1 開会

- ◇事務局 皆様お揃いですので、ただいまから令和4年度第1回周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議を開催いたします。本日はお忙しい中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。私は本日の進行を務めさせていただきます企画課の栢と申します。どうぞよろしくお願ひします。

2 企画部長あいさつ

- ◇事務局 (企画部長あいさつ)

3 委員の紹介

- ◇事務局 続きまして、委員の紹介に移ります。時間の関係もございますので、座席順に事務局から委員の皆様のご紹介をさせていただきます。

(委員 自己紹介)

- ◇事務局 次に事務局の紹介に移ります。

(事務局 自己紹介)

4 会長及び副会長の選出

- ◇事務局 それでは次に、会長および副会長の選出に入ります。周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議設置要綱第5条で戦略会議に会長および副会長各1名を置き、委員の互選により定めるとされております。皆様の互選により、会長・副会長を選出したいと存じます。どなたかご意見はございますか。

- 委員 (意見なし)
- ◇事務局 ご意見がないようでしたら、事務局から提案をさせていただいてよろしいでしょうか。
- 委員 (意義なし)
- ◇事務局 昨年度の本会議で、会長・副会長をお引き受けいただきました、榊原委員に会長を、河野委員に副会長を引き続きお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。ご異議がなければ拍手をもってご承認をお願いします。
- 委員 (拍手承認)
- ◇事務局 ありがとうございます。委員の皆様のご承認により、会長に榊原委員、副会長には、河野委員が選出されました。榊原会長、河野副会長におかれましては、前の席にご移動をお願いします。
(会長・副会長移動)
- ◇事務局 ここで会長、副会長より一言ずつご挨拶をお願いします。
(会長・副会長挨拶)
- ◇事務局 ありがとうございます。それでは、議事に移ります。これ以降の進行につきましては、設置要綱第6条の規定により、会長が議長を務めることとなっておりますので、榊原会長どうぞよろしくをお願いします。

5 議事:(1)まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要及び評価方法について

- ◎会長 それでは規定に基づきまして議長を務めさせていただきます。議事進行につきまして、委員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。まず一つの議事である第2期周南市まちひとしごと創生総合戦略の概要と評価方法につきまして、事務局からご説明をお願いいたします。
- ◇事務局 (資料を基に説明)
- ◎会長 ただいまのご説明につきまして、何かご質問等ございましたらよろしくお願い申し上げます。
- 委員 (質問なし)

5 議事:(2)まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する評価について

- ◎会長 それでは二つ目の議事の総合戦略に関する具体的な評価に入ります。
資料の4ページ目です。まず、「基本目標1・雇用を確保し、安定して働くことができるまちづくり」の中の「推進施策(1)産業基盤強化の促進」につきまして、事務局からご説明をお願いいたします。
- ◇事務局 ～基本目標1・推進施策(1)について説明～
- ◎会長 ただいまの件について、どなたからでも結構ですが、質問ご意見等をよろ

しくお願いいたします。

●委員 評価のところで、「ベースロード電源としての石炭およびバイオマス」と記載がありまして、石炭をどうするかということだと思います。今の時代で、「需要はある」というような表現がどうなのかなと思います。いかがでしょうか。

◇事務局 最終的に、2050年に関しては取扱量が減少すると考えております。しかしながら、今年度のウクライナ情勢も含めて、今年来年すぐすぐに石炭量が減少することは難しいと考えております。いつまで、というのはありますが「当面の間」と記述をさせていただいております。

◎会長 港湾計画には、私も若干かかわっています。徳山下松港は、石炭もありながら、水素やアンモニアといったところも色々検討されて、エネルギーの転換に対応した港作りというようなところも、議論を既に初めていらっしゃるという理解をしています。今のようなご指摘は、ごもっともなご指摘だと思います。ですので、来年からの石炭ゼロというわけではないのだけでも、という話と同時に、先を見据えた戦略もおそらくお考えなんじゃないかと思いますので、そういったところも言及されたら良いのではないかなと思いましたが、いかがでしょうか。

◇事務局 はい。そういった形で修正をさせていただければと思います。

◎会長 私の理解では、今後10年という比較的短期のスパンの中では、バイオマスを増やしていくというようなシナリオが想定されていて、より長期で言うと水素を徐々に入れていくと。今の日本の戦略としては、水素やアンモニアを海外から輸入するということも考えているので、そういった部分で港湾の役割があるのではないかという議論だと思っています。石炭だけのために港湾事業もいるのかという議論は、当然あり得ると思うので、そのあたりは少しそういったことも言及された方がいいのかなと思いました。

では、ひとまずこちらについては以上とさせていただきます。どうもありがとうございました。続きまして「推進施策（2）の企業立地の促進」につきまして、お願いいたします。

◇事務局 ～基本目標1・推進施策（2）について説明～

◎会長 まず3つ目のKPIについて、割と遅れ指標というか、少し前のいろんな企業立地であるとかそういうものが反映して、今年比較的良い数字になっているというお話だったのですが。こちらの主な取組③「都市型産業の立地促進」の具体的な取組について、新規の「情報通信産業等支援事業」、「まちなかオフィス立地促進事業」に関して、直近は低調だったような書き方になっていると思います。こちらについては、今年は結構成績が良かったのだけど、来年以降は少し伸び悩むということなのではないでしょうか。

◇事務局 新規の案件がなければ、少し伸び悩むということは考えられるかと思いません。

◎会長 これは数年間雇用が継続されることで、初めて実績で上がっているという、そういう意味ですね。

◇事務局 おっしゃる通りです。

◎会長 はい。理解しました。

○副会長 事業所等設置奨励補助制度の指定件数が、令和3年度は22件であったと報告されているのですが、差し支えない範囲で、具体的な業種・どういったところが新規で入ってきたのか・なぜ周南市が選ばれたのかというのがわかれば教えていただけたらと思います。

◇事務局 基本的にはこの制度というのが、製造業及び製造業に密接した物流業を業種の対象としております。新たに、令和3年度に市外から新しく進出されたというよりは、今ある事業所が新たに設備投資を行われたという案件がほとんどでございます。

周南市を選ばれる理由とすれば、やはり周南市の立地というのは大きな魅力かなと思っております。新幹線が止まる駅であるということで、周南市に問い合わせ等があることは多いと感じております。

○副会長 元から好立地であったり、今ある事業所が新たに設備投資を行われたりということですが。受身に感じると思いますか、待っているだけでは増えていかないのかな、と正直思っています。ただコロナの関係で、逆に都会から離れた郊外で、周南市を選ばれた場合に、下松市ではなくなぜ周南市なのか、山口市ではなくなぜ周南市なのかという理由を新幹線が停まるからということではなくて、周南市に何か新たな付加価値をつけるというか。コンビナートの電力やコンビナートが作っている水素やアンモニアを使って、新しい石炭の火力発電だとかっていうのもありますので。地元コンビナートだとかと協力して、「こうだからここが良い」というアピールを積極的にやっていただけたら、今まで来られなかったようなところから、周南に来ようとかってというような、そういった魅力の発信であったりだとか、リモートワークだったりとか色々あると思います。他のいろんな施策と絡めて、周南市の魅力を発信していただけたらと思いました。以上です。

◎会長 ごもったもなご意見だと思うので、その辺りも反映していただければと思います。

●委員 コンビナート電力の活用は、とっても大切なことだと思います。しかし、この電力を、本当の意味で活用しやすいものであるものにしていかなきゃいけないと思います。現状では、ここにさらっと書いてある書き方だと、耳ざわりの良い言葉ではあると思いますが、実際これから本当に活用して、当市

の強みとして宣伝して、本当に使ってもらおうと思うと現実的にギャップがあると思います。コンビナート電力は、当市の強みであり、特徴であるので生かしていくべきと思うのですが、仕組みをしっかりと作ってわかりやすいものにして、本当にある程度の多くの方が理解できるような形にしていかないと、これは言葉の遊びで終わってしまうのではないかと。そういった危惧はあります。

これはあくまで感想になるのですが。ここに書かれている言葉は、間違っているとは思わないのですが、ただ実態が伴っているかというところでとても不安を感じている部分があります。意見として言わせていただきました。

◇事務局 コンビナート電力につきましては、自営線といってそれ専用の線を引っ張って電力を供給しています。ある程度の規模や電力需要がないと、そうした投資効果が生まれないので、なかなかどなたでも使えるというようなものにはなっておりません。また、クリーンエネルギーに関しては企業さんの方で努力されておりますので、市としても協力していきたいと考えております。

●委員 ちょっと意見として言わせていただいただけなので。これは文章としてはいいのではないかなと思います。以上です。

◎会長 今ご指摘があったような、そういった実効性とか、あるいはそういったカーボンニュートラルの動きといったことを踏まえた、場合によっては微修正というか、そういったところの必要性の含めたご意見かと思います。その辺りもお考えいただければと思います。それでは、こちらは以上とさせていただきます。どうもありがとうございました。

では続いて、「推進施策（3）新事業・新産業・新エネルギーの創出」につきまして、お願いいたします。

◇事務局 ～基本目標1・推進施策（3）について説明～

◎会長 創業機運醸成事業について、「学校と連携」というのは、具体的には、周南公立大学、徳山高専あるいは高校そういったところでしょうか。例えば、今年度どこかの学校と話をしている、続けているとかそういう、取組状況とかがありましたらお願いいたします。

◇事務局 明日、公立大学と打ち合わせをさせてもらう予定でございます。授業の一環として、起業して、市内で活躍されている方とパネルディスカッションをしていきたいと思っております。また、高校生向けであれば、学生をグループに分けて起業家との座談会をしたいと思っております。

◎会長 学校でこういった取組を継続しようと思うと、授業の一環というか、科目などでカリキュラムに取り込むという形が継続性を持つのかなという気がしています。

◇事務局 会長のおっしゃるとおり、カリキュラムの中に入れていただきたいなということで明日お話をしてみようかと思えます。最後に行ったのが令和元年度ですが、その時も当時の徳山大学の講義の一環でパネルディスカッションをさせてもらっています。

また、徳山大学は、今年度新しく公立大学に生まれ変わりました。授業の中で、BAGEL&BAGELを立ち上げている周南市出身の林先生を特任教授として呼びまして、アントレプレナー実践の授業をしております。企業も大学と連携してやっているという状況でございます。

●委員 「主な取組③創業支援の推進」についてですが、新規の創業者数が38名ということで、これに伴って新しい創業事業で雇用された人数の把握はされていらっしゃるのでしょうか。

◇事務局 すいません、把握しておりません。

●委員 1つの新しい事業が創出されると、それに伴って雇用が生まれるっていうことが一番大事なところだと思います。何人ぐらい雇用の創出があつてということが成果として上がってくると、より施策の成果が現れるのではないかなと思います。

◇事務局 そういうフォローや補足ができないか、協議したいと思えます。ありがとうございました。

●委員 以前、「水素ワクワクみらい博」を駅前で行われたかと思うのですが、水素だとかバイオマスだとか、そういったことを利活用してっていうのは、市民の方や小中学生の子たちに発信するときに、こういったイベントをやられると非常に伝わりやすいのかなと思えました。今後もこのようなイベントを行う予定はありますか。

◇事務局 今おっしゃった「水素ワクワクみらい博」は、昨年度初めての試みでございまして、企業のご協力もいただきながら、徳山駅前で開催しました。非常に多くの方にご参加いただきまして、大好評いただいております。今年も、実施に向けた検討を企業等と一緒に開始したところでございます。水素を身近に感じる機会はなかなかありませんので、そういう機会を創出して理解を深めていただくということは大切だと非常に感じました。今年も進めていきたいと思っております。

○副会長 評価シートについてです。本会議で評価する他の施策にも、令和3年度の取組成果に「新型コロナウイルス感染対策により、企業訪問が最小限の対応となり、限定的なものとなっている」というようなことを必ず書いているのですが。ちょっと視点を変えると、コロナだからこそオンラインとかで今まで行けなかったところに行けて、数も増えるのではと思えました。この辺りというのは対面で、フェイス TO フェイスのコミュニケーションが必要にな

るということで数を数えているのかと思いますが、情報収集や情報提供、アウトプットについては、オンラインの方が遙かに向いているので、数もこなせるのではないかなと思うのですが、そのあたりどうお考えですか。

◇事務局 おっしゃる通り、これまで対面でというのが当たり前の世の中でございました。

昨年度、企業がオフィスを探される場合に、なかなか周南市に来ることができないという中で、実際に、テレビ電話のような形で物件を紹介させていただきました。徳山駅からの途中の通路なんかもずっと通話状態でご案内したことがございます。おっしゃる通り、そういった形で逆に間口が広がった部分があるかと思しますので、今ご意見をいただいた通り活用していければと思っております。

○副会長 いろんなところにこの文言が散りばめられていて、すごくネガティブな印象にしか受け取れないと感じました。今言われたように、コロナ禍の中であるからこそ、こういうことやっているとか、こういうことで業績を増やしているというような、ポジティブに、もっとアクティブな感じで書かれてください。今の書き方だと、市民の方がぱっと見たときに「コピーペーストしたのではないかな？」って思ってしまうので、もうちょっと各課でコロナ禍に何をやってきたのかっていうところを、ちゃんと書いていったほうがいいのかなんて思いました。

◎会長 そうですね。令和3年度もコロナ禍で、いろいろ支障があったのだと思うのですが、今副会長おっしゃったような、オンラインの活用とか進んだ部分もあると思います。多分、今年度ぐらいから、コロナ禍なので会えなかったみたいなことは、ちょっといつまでも言っていられないかなという感じがしています。そのあたりは少しいろいろ考えていただけるといいのかなと思います。

それでは、こちら推進施策（3）については、このあたりとさせていただきます。どうもありがとうございました。続きまして、「推進施策（4）稼げる農林水産業の構築」ということでよろしくお願いいたします。

◇事務局 ～基本目標1・推進施策（4）について説明～

◎会長 「主な取組②新たな担い手の確保と産業基盤の強化」について教えてください。漁業の就業者ということですが、現状、どういった方が新規に漁業に入ってこられる状況と思ったらよろしいのでしょうか。どういった経緯で、漁業に関心を持って入ってこられるという状況なのでしょうか。

◇事務局 研修を受ける制度につきましては、国の制度と県の制度がございます。国の制度につきましては、就業フェアを通しまして、そちらで採用されますと、最大3年間の研修を受けて漁業者になるというのがあります。それとは

別に、山口県独自の2年間の研修制度もございます。基本は、国の方の就業フェアに参加していただくようになります。県の方は、国の制度に漏れた方を拾うっていうのもあります。

例えば、漁業者になりたいという話を市で受けますと、最寄りの漁協にその情報を提供しまして、漁業をしたいっていう方と漁業を教える師匠になる方とのマッチングができれば、新たに研修が受けられるというふうになります。まずはその漁業者になりたいっていうのが一点ではございますが、漁業を教える方がいらっしゃるかどうかっていうのももちろんあります。実際のところいいますと、その教える師匠の方も高齢化とかですね。あとは漁業者自体も減っておりますので、なかなかいないというのが現状ではあります。

◎会長 こちらの10名の新規漁業就業者が自立ということについてですが、自立っていうのはどういう定義ですか。

◇事務局 漁業者になりたいというくくりであれば最長3年、県では2年の研修を受けられまして、それを終了しまして、自分で漁業を始めるといったところでカウントしております。それで今延べ10名でございます。ただ、今年度1名、研修中の方もいらっしゃいますので、その方が今年度中1名になる予定ではあると聞いております。

●委員 農業も漁業も、新たに就業される方は設備とか道具とかが必要だと思うのですが、その辺をご自身で揃えるのって大変だと思います。最近テレビで見たのは、廃業された方の道具をそのまま引き継いで提供することができれば、新たに入ってくる方も入りやすいのではないかなと思うのですが、そのあたりの取組はいかがですか。

◇事務局 漁業で申しますと、研修を受けている間の生活費とかのそういった補助であるとか、周南市独自では住宅費の補助がございます。それとあわせまして、船を購入するに当たり、船のリース事業という制度があります。そちらの補てんという形で、漁業者になられる方の支援をしております。

●委員 その点はわかりました。ただちょっと期待すると、廃業された方の船や家まで全部引き継げるようなことができれば入ってきやすいのではないかなと思います。その制度推進などできればなと思っております。

◇事務局 今のお話に関連してですが、実際、漁業者の方の高齢化でやめていく方が結構いらっしゃる聞いております。そういった方の、船とか漁具を当てにされて、かつて漁業者になられた方との情報もございます。あと漁協で、そういった情報サイトのものに、こういった船が今からでますよという情報が提供されると聞いております。おそらく100%ではございませんが、皆さん中古を改良されてあとは自分の適用、その量に適したような装備をつけ

られて開業されているというのがほとんどです。その辺は廃業され方からの引継ぎを上手く利用されているのではないかと思います。

●委員　　ご本人は当然そうでしょうけども、支援の方もできたら、ということをお願いします。

◎会長　　農業はいかがでしょうか。漁業で先ほどあったような後継者であるとか、そういったお話の取組等、もし何かあればよろしくお願ひいたします。

◇事務局　　農業では、新規就農者の補助事業がございます。技術研修や就農事務ということで、申し込みをいただいた方には、農家の方とマッチングして、そこで最初の2年間の研修を受けていただきます。その方が農業に適しているかどうかなどを判断し、最終的に年間170万円を就農農業としての収入を得られる形になれば自立ということで、実際に就農していただくというものでございます。また、そういった方に対しての農地の確保や、農協を通じての機械や施設導入の支援ですとか、空き家情報バンクなどを利用して、空き家の斡旋などといった取組をしているところでございます。

◎会長　　おそらく農業水産業どちらも、先ほどありましたような事業の継承というか、今あるストックの活用といたしますか、そういったところが大事じゃないかというご意見かと思ひます。そのあたりにつきまして、またいろいろご検討いただければと思ひます。それでは以上とさせていただきます。どうもありがとうございます。

では基本目標1の最後ということで「推進施策（5）の雇用の充実」についてよろしくお願ひいたします。

◇事務局　　～基本目標1・推進施策（5）について説明～

◎会長　　基本目標1について、ここまでご説明いただいたように様々な取組をされていまして、KPIについてはおおむね達成されているものも多いと思ひます。しかしながら、3ページにあります、基本目標1の数値目標「市内就業者数（雇用保険の被保険者数）」でいうと、やはり減少はしてきています。令和2年から3年と少し減少のペースが上がっているようにも見えます。このあたりは、主にはリタイアされる方の数であるとかそういったところからどうしてもこういう数字にはなってきたということでしょうかね。

◇事務局　　正直こうですっていう分析はできておりませんが、ここはあくまでも就業者でもあり、雇用保険の被保険者数で整理しておりますので、実際に働いている人と雇用保険の被保険者というのは必ずしもリンクしてないと思ひます。我々としては、掲げています通り、雇用保険に入って仕事をさせていただく人を増やしていきたいと考えております。今おっしゃった点についても、今後分析を深めていこうと思ひています。

◎会長 他の項目もそうかと思いますが、やはり基本的には各K P Iと全体の基本目標の達成というのが、論理的には繋がってないといけないのだと思います。しかし、そこを繋げていくってすごく難しいところだとは思っております。

ちなみに、ここに書かれている人手が不足している職種、それから就職が難しい職種というのは具体的にはどういった職種でしょうか。

◇事務局 まず就職が難しいというのは、事務的職業でございます。いわゆるオフィスでの事務の仕事です。そういったものが直近で申しますと、目標を下回る状態でございます。ハローワークのバランスシートが毎月公表されていまして、直近で言うと事務的職業が0.39倍でございます。一方で、人手不足は生産工程の職業というのがございますが、これが3.14倍です。事務的職業で申しますと、求人数が112人に対して希望者が285人。生産工程の場合は、求人数は308人に対して求職者は98人とそういったアンバランスが生じております。

◎会長 ミスマッチがあるということですね。

●委員 人手不足分野っていうのは私どもでいう皆様ご存知の通り介護、看護、運輸、警備という職種です。今、求人はたくさんいただいておりますが、なかなか希望する方がいらっしゃらないというのが現状かと思っております。なかなか仕事に就けないというのが、先ほど言われたとおり、女性の方は割と事務を希望される方が大変多いです。これはフルタイム・パート含めてなんですけど、どうしても求人を含め上回る求職者の方が多いということでなかなか就職に繋がらないというケースが生じている状況です。昔、県全体の求人倍率と1.6倍台ぐらいございましたが、コロナの影響もあって1.2倍ぐらいです。令和2年の8月頃に、求人倍率が落ちまして、その後経済がまた回ってきたこともありまして、求人倍率がかなり戻ってきています。人手不足というのが顕著に表れている状況です。

●委員 教えていただければと思うのですが、この周南シゴト動画というのはどのようなものですか。また、先ほどから話が出ているミスマッチが生じているような業種の動画が主ということですか。

◇事務局 この動画サイトは、どういった職種の方でも求人について解説する動画であれば申し込みされて結構です。我々の方で予算化して作成しているのは、いわゆる今申し上げた製造業とか、そういった職業を中心に撮っております。

●委員 そうというのがもっと今年度以降、活用できてくるといいかなと思っております。

◎会長 それではこちら、以上とさせていただきます。どうもありがとうございます。以上が基本目標1でして次は基本目標3の方に行かせていただきます。20ページです。「基本目標3・若者女性が魅力を感じつながりが生まれるまちづくり」の「推進施策(1)関係人口の創出・拡大」ということでお願いいたします。

◇事務局 ～基本目標3・推進施策(1)について説明～

◎会長 「主な取組②地域づくりの担い手の創出」についてですが、周南市の山間部の地域というのは、この和田地区以外にもかなり含まれていると思います。他の地域でこういった取組等はなかなか難しいのか、あるいは難しいとするとどういったことが理由であるのかというような分析はありますか。

◇事務局 各中山間地域の各地区では、こういう交流事業は数多くされているかと思います。和田地区においてはさらに一歩踏み込んでファン作りというか、来られた方が今後地域に関わっていくような形での交流活動というのを進められているところです。今度は和田地区のように、一歩前に進んでですね、来られた方が地域にかかわるような仕組みとか活動っていうのを展開できるように市としても地域に対して動いてまいりたいと考えております。

◎会長 皆さん、地域コミュニティですごくいい取組をなさっています。ただ、その地域でそのお話が完結していると思います。実は同じ市の他の地域でも似たような問題がありそうですけど、他の地域に波及するというのはなかなか難しいなと思っています。そこのところで行政がどういった形で関わるのがよろしいのかと思います。ある地区の取組や反省など、それが周りに波及させることをいろいろ考えられるといいなと感じています。

●委員 シティプロモーションのスペシャルサイトをスタートされていますが、こちらのページビューは増えてきているものでしょうか。

◇事務局 そうですね。おおよそだいたい月に1,000人から2,500人ぐらいのユニークユーザーの方が増えています。10月にサイトがオープンしまして、ページビューとしては、10月から3月末で4万から5万の間だったと認識しております。また、サイトだとオウンドメディアになりますので、呼び込んでこないと見ていただけません。ですので、noteという新しいSNSを始めました。これによって、SNSを利用されている方の方から検索してサイトに来ていただくような仕組みを作っております。実はこちらのnoteのページビューが多くて、7万件ぐらいのページビューがあります。担当者が書いたエッセイなども、noteをされている方がSNSなどでピックアップして記事を取り上げてくれています。サッカーの田中達也選手が引退したときにインタビューさせていただいたのですが、サッカー関連のニュースとかで検索していただくので、SNSの力で告知が進み、ページビューが増えてい

ます。ただ、ページビューが他の市と比べて多いかどうかというのかわからないので、この数字が多いですとか少ないですっていうのが申し上げられないですが、行政のページとしては多いと思っております。

○副会長 note のページ、よく拝見しています。とっても面白くて。人にフォーカスして、それがアーカイブで残っていくっていうのもいいなって思います。うちの学校でも、プロモーションに苦勞しています。今、学生を見ていると、ほぼほぼみんな TikTok を使っています。周南市は将来的に TikTok に挑戦することはあるのですか。

◇事務局 一昨年、山口大学出身の TikToker の「あああつし」さんをお招きして、動画のことをお聞きしました。行政で早めに取り組まれたらとてもいいですよっていうお話まではしていますが、なかなか動画を実際に発信するスキルがまだ私達にも足りないところがあります。ただ、本当に若い世代は Instagram と TikTok のハッシュタグで検索しているっていうようなことは聞いておりますので、何かそういったこともできたら良いと思います。

○副会長 ぜひ先陣を切っていただいて、それを参考にして、我々も作っていききたいなと思っていますので頑張ってくださいと思います。

◎会長 はい、ありがとうございます。若い方がターゲットだと Facebook はちょっと厳しいですね。本当に Instagram、TikTok とかその辺ですよ。

ではこちら以上とさせていただきます。どうもありがとうございました。では、「基本目標 3・推進施策（2）の起業・創業支援の推進」についてお願いいたします。

◇事務局 ～基本目標 3・推進施策（2）について説明～

◎会長 新規就農の方は、周南市に元々いた方で他の仕事をされていたような方か、あるいは U ターン的な方でしょうか。

◇事務局 もともと周南市の方もいらっしゃいますし、県内にご住所があった方とか、県外の方がこちらに来られたとか、いろんな方がいらっしゃいます。もともと違う仕事をされて農業を始められた方もいらっしゃいます。

◎会長 なるほど。あまりこうこういう人が多数派とかいうことはなくて、いろんな方がいる。といういろんな前歴の方がいらっしゃるということでしょうか。

◇事務局 はい、そうですね。

○副会長 新規で数を増やしていきたいっていうのと、それが持続可能かっていうのは全然違う話だと思います。例えば新規就農された方とか新たに参入された方ってどれぐらいの方が途中で辞められたとか、続いているとか、経過観察はされていますか。

◇事務局 周南市では、幸いここ10何年間の中でリタイアをされた方はいらっしゃいません。結婚してお子さんが生まれてちょっとできなくなったとか、そういった方がちょっと止められたというのがありますが、それ以外は皆さん続けられております。

○副会長 農業や漁業を始められるというのは結構ドラマティックだと思います。そういった方にスポットを当てて、さっきのシティプロモーションに重ねてみるとか。周南市は自然が豊かというのがよくあるのですが、自然があるまちはたくさんありますよね。だからこそ、周南ではこういう人がこのような活躍をしているという目線で、先程お話にあった漁業の師匠であったり農業の師匠だったり。今高齢者って言われていますけど、例えば、80歳でも引退するのと言われてたら「いや、90でも働くよ」とか元気な高齢者の方たくさんいらっしゃると思います。そういう人にフォーカスをして、高齢者の方も元気で長く働いていけるような、そんなコミュニティだからここで働きたいみたいな。そういったシティプロモーションとかとも兼ねて、農業だけっていう話ではなくて、新規就農者だったり、さっきの漁業の方だったりそういった呼び込みが課を通じて、農林課とシティプロモーション課みたいな感じでコラボレーションしてやれば何かもっと広がっていくのかなって思います。

Noteなどはハッシュタグで色々検索できて、参考やきっかけになるので、ぜひコラボレーションして、すてきな人たちをピックアップして紹介して欲しいなって思いました。

◎会長 そうですね。今のお話でいうと、そこの方にある物語みたいなものがあるわけですね。部署横断的な協力等ができるといいのではないかなと思いました。

●委員 コロナ禍になりまして、商工会議所にも人生を考えられるのか創業の相談が増えたような感じがします。ですので、今は農業の方を増やそうと思えばいい機会じゃないのかなと思います。このような方をターゲットに、コロナだからできないのではなくて、コロナだから人生を考え直して創業とかを増やしていく施策を、市役所で何か考えていただけると助かります。

◎会長 こちらは推進施策(2)全体としてのご意見ということで、何らかの形で反映させて反映していただければというふうに思います。ありがとうございます。それではこちらは以上とさせていただきます。

続きまして、「基本目標3・推進施策(3)UJIターンの促進」について、よろしく願いいたします。

◇事務局 ～基本目標3・推進施策(3)について説明～

●委員 先ほどのご説明の中で、移住者のニーズを満足させるような受入れ体制と
いうようなお話も出ていましたが、例えば他の自治体とかだと、地域おこし
協力隊みたいな取組をされている自治体もあろうかと思えます。周南市では
過去にそういったことをされたことがあるとか、今後されるご予定等、ある
のでしょうか。

◇事務局 地域おこし協力隊については周南市において過去に3名ほど導入した経緯
があります。地域づくりの支援という形で、各地区のコミュニティ活動で必
要性に応じて、こちらで検討して入れてきた経緯があります。今現在の考え
方の一つとしては、各地区で地域おこし協力隊の支援が必要というところま
では一緒に検討して、入れていくというものです。例えば萩市とか長門市と
か、かなり毎年のように入っておられますけど、周南市が全く入れないとい
うわけではなくて、状況や必要に応じて対応しているというところでござい
ます。

●委員 多分予算の関係とかもあると思うので、すぐ決定できるものではないと思
っています。私どもの機関では創業の融資等も行っていますが、他の自治体
では、地域おこし協力隊に参加された方が2、3年そこで定住されてそのま
ま創業されるというようなケースもあります。先ほどから話が出ているとス
トーリーっていうんでしょうかね。そういうのができるような方もいらっし
ゃいますので何かプロモーションというかPRにとてもなるようなものも出
てくるかなと思います。また、移住と仕事ってセットになるかと思えます。
例えばですが、空き家の問題など、循環的にその他いろんな問題が解消でき
るような施策の一つかもしれないと思います。こういったご検討もまた今後
されていったらいいかなと思います。

●委員 それぞれの部署が、大事なことを行っているとは思いますが、特にこのU
J I ターンの促進という項目がすごく大事だと思っています。やはり、この
取組を特化するような、そして責任持って成果を出すようなことをしてい
かなくてはならないと思います。例えば、同じ10年の取組をするのであれば、
やはり特化した取組をした方が良くずっと思っています。ぜひそうし
てもらいたいです。市の内部でそれぞれ連携して取組を行えば、各部が出し
ている施策の中で三つを一つに、五つを一つにしてやれば、もっと力を発揮
できるのではないかと思います。そして、予算が有効に使えらると思ってい
ます。一つ一つの評価の視点とはちょっと違いますが、そういうことをでき
ればという意見でございます。

◎会長 はい。全体に対するご意見ということでよろしいでしょうか。

●委員 はい。そういうことになります。

◎会長 そのあたりの関係でいうと、国がK P Iを立てて評価することを求めているので、どうしてもこのような様式になるとは思っております。個別のK P Iと基本目標が、論理的に整合してないといけないので、K P Iで成果が上がれば基本目標の方でも成果が上がるようになってほしいと思います。しかし、そのあたりの部分がなかなか難しいなというのは感じるところです。ただ基本目標3に関して言うと、3ページの数値目標「25歳から39歳人口の転出超過数」について、この数値を見る限りでは減っていていますので、目標に近づいているように見えますね。これはかなり急なように思いますが、これは何か良い要素があったのですか。

◇事務局 人口の部分ですけれども、毎年振れ幅がございます。今回の場合であれば、コロナ禍で都会の方に出て行かないことは全国的にも言えると思います。ただ、今一番問題になっているのは社会減です。周南市というのは昭和ぐらいからずっと社会減でございます。若い人の社会減を食い止めるというところで、ここをしっかりとやっていこうということで今施策をあげているという状況でございます。

◎会長 はい。ありがとうございます。では、以上とさせていただきます。どうもありがとうございました。では、「(4) 高等教育機関等との連携」についてよろしく願いいたします。

◇事務局 ～基本目標3・推進施策(4)について説明～

●委員 高等教育機関との連携ということで、私も大学生とか高校生の就職状況などを調べおります。やはり、県内出身の生徒さんが県外に出るケースが多いわけですね。この春卒業した学生さんは、コロナの影響もあるせいだと思いますが、若干地元志向が強いということで、県内就職率も若干高くなっております。あと、せっかくいろんな技術を学校で身につけても、地元企業とマッチするかどうかという部分があります。ぜひ高専、大学を含めてですけど、インターシップ等を有効的に活用していただきたいというのもあります。また、山口県のインターンシップ協議会の資料とか見ますと、実際学生さんがインターンシップに行く先っていうのは、公務職場が多いですね。例えば市役所もそうでしょうし、私は労働局にいましたが、やはり労働局に来られるとかですね。後、多いのは県庁です。そういう公務職場メインのインターンシップというよりは、民間企業にぜひ行っていただいて、民間企業の良さという部分と伝えていけるような手立てを打っていく必要もあるのではないかと思っております。

●委員 こちらは商工会議所ということで、地元の企業と対することが多いです。よく言われるのが、なかなかインターンシップに来てもらえないということです。今ある学部が果たして地元企業のニーズに合っているかどうか。でき

れば地元企業に合うように学校作りの方をしていただけるとすごくありがたいというご意見を企業さんの側からの方からいただいております。ですので、今後の学校運営、学校作りっていうのを考える上で、地元企業の意見を大切に考えていただけたらなと思います。

また、工場に関しては建設や電気工事などの人材がすごく欲しいということでした。逆に工務店からですと、大学までは必要ないので、とにかく職人が欲しいという意見もあります。

◎会長 例えば周南公立大学は新学部の構想があるかと思います。その辺りはどのような状況ですか。

◇事務局 周南公立大学の方は令和6年から情報科学ともう一つは看護の方を新しく開設して作ろうというような形にしております。委員もおっしゃいますように、事務等の企業などにアンケートをとっていくと、そういった理系的なセンスのある、職員と情報が必要であるということです。現在そういう形で大学の学部を改正するというふうにしております。

○副会長 公立大学になったってということで、周南市からとか、山口県から大学に何人入った・何%入った情報は開示できるのですか。

◇事務局 現在、周南圏域から定員の30%を受け入れて周南地域の就職率を40%にしようという目標を掲げています。地元から入学すると地元に残るといような傾向が強いということで、このあたりの数値を上げていこうと考えております。令和4年度の入学者の内訳は、周南市内が16名で4.7%、周南圏域は下松光ですけども、29名で8.5%、山口県東部は37人で10.8%、山口県内でいけば118人の34.4%。入学定員数は280人ですが今回343名を入れたうちの数でございます。まだまだ目標には達していない状況ではございますけれども、いろんな策を打って周南圏域・周南市らの入学者数を増やす努力をされていると伺っております。

○副会長 僕のいる土木建築工学科はやっぱり県内での就職をしたい生徒が結構います。ただ、県内で受け皿がなくて出て行くとかっていうケースもあります。あくまで今の肌感ですけど、明らかにこの4ヶ月で今まで見たことのない大学生の感じの生徒を目にします。昔は結構マッチョな感じの生徒がたくさんいましたが、今はいろんな感じの生徒がいます。これからどんどん混ざっていくような形になっていくと思います。周南で大学に行って就職みたいな道があるっていうのは、非常に若者にとっても希望があります。周南市って、「よくわかんないけど良い」というのが結構多いですが、なるべく学生には何がいいのかっていうのはちゃんと言語化できるように、自分で説明できるようにしなさいって言っています。公立大学に地元の子が入ると、おのずとこのあたりの数字が上がっていくと思いますのでぜひ頑張ってください

いなと思います。高専も、公立大学とは一緒に何かできればいいかなって思っています。

◎会長

先ほどの話で、1年生は県内34%ということですが、大学って出口も大事ですけど、生き残っていくための入口も大事です。来てくれないと、大学が潰れちゃいますから。徳山大学さんはその前の状況で定員割れとかになっていたようなこともあるので、そこから考えれば、少なくともそこに関しては成功だったわけですね。やはり県外の方が来てくれるように選んでくれるようになったのは、すごく大きなことだと思います。周南市のまちづくりでぜひそこを生かしていただきたいなというふうに思います。

それと去年も申したと思いますが、公立化の議論のときにも出ていたのですが、公立化することでむしろ地元進学率が落ちているところって結構事例としてはあったと思います。それは端的に言って、水準が上がって難易度が増すので、それによって地元進学率が低下したと聞いています。やはりその部分っていうのは、私の感覚としてですが周南公立大学は結構いい方じゃないのかなっていうような印象をもちましたので、それをキープというかももう少し上げていけるといいなと思いました。

また、先ほどもありましたが、特に理工系とかの場合ミスマッチというのが県内の場合あるのかなあというのは思うところです。やはり工学部は比較的地元就職先もあるかなと思いますが、やっぱり物によってはなかなか県外に行かないと難しいタイプの分野もあるかなと思います。そのあたりをどうとらえるかですね。もちろん県内でそういった受け皿をつくるということも必要だと思います。何にしても、周南市の大学を結構な数の県外の人が選んでくれたっていうところをうまくまちづくりの一環として活用できたら良いと思います。中には何%かは周南を好きになってくれて、このまま周南に住んで仕事も見つけようかなっていう気持ちになってくれるかもしれないです。その辺りすごく難しいところだと思いますが、せっかく公立化ということを選択されたのでいろいろ考えていただければなというふうに思います。では、こちらは以上とさせていただきます。

本日は、「基本目標1・雇用を確保し、安定して働くことができるまちづくり」と「基本目標3・若者・女性が魅力を感じ、つながりが生まれるまちづくり」については終了したということで、取組としては全部で9件が終了いたしました。次回8月18日につきまして、基本目標の2, 4, 5ということで、まだ事業としては10件あります。次回も同じようなペースになってしまうと思いますが、よろしく願い申し上げます。

それでは今日の全体を通じて何か皆様の方でございますか。

●委員

(意見なし)

◎会長 それでは本日の議事は終了させていただきます。長時間にわたり大変お疲れさまでした。進行を事務局にお返しいたします。

6 その他

◇事務局 ありがとうございました。今回の議事録につきましては事務局で作成の上、会長と副会長に確認をしていただきます。よろしくお願ひします。

 次回の会議は8月18日木曜日、14時から開催いたします。場所は本日より同じ、市役所 本庁 4階 庁議室です。次回もどうぞよろしくお願ひいたします。また、本日お車でお越しの方がいらっしゃいましたら、駐車料金無料化の処理をしますので、お申し出ていただけたらと思います。

7 閉会

◇事務局 以上をもちまして、第1回、周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議を終了いたします。本日は誠にありがとうございました。お気をつけてお帰りください。